

2023年7月19日
三菱電機株式会社

NEWS RELEASE

シンガポール発のスタートアップ Hydroleap Pte. Ltd.へ出資
循環型社会の実現を目指した水浄化装置で、東南アジア地域の水質汚染問題を解決

三菱電機株式会社は、グローバル・ブレイン株式会社と共同で運営するコーポレートベンチャーキャピタル (CVC) ファンド「ME イノベーションファンド※」が出資する第5号案件として、汚水を浄化する処理技術を保有するシンガポール発のスタートアップ企業、Hydroleap Pte. Ltd. (以下、Hydroleap) へ出資しました。

「世界の工場」と称される東南アジア地域では、産業排水が深刻な水質汚染問題を引き起こしています。産業排水に関する問題は、工場、石油やガスの精製、建設工事、データセンターの維持管理など多岐にわたり、これらの産業排水には毒性の強い重金属、濃度の高い有機物、難分解性物質などが含まれる場合があります。年々、厳しくなる排水基準に対して、現在、多く使用されている生物処理だけでは対応が難しくなっており、排水処理の工程において生物処理を補完する手段として電気分解法が注目されています。

Hydroleap は、電解凝集法 (HL-EC: Electrocoagulation)、電解酸化法 (HL-EO: Electrooxidation) と呼ばれる2つの排水処理技術を保有しており、循環型社会の実現を目指して環境負荷の少ない排水処理技術の研究開発と水浄化装置の製造と販売を行っています。

今後、当社は、東南アジア地域の工場排水の問題を解決するため、Hydroleap による電気分解法を活用した水浄化装置の普及を支援します。

Hydroleap Pte. Ltd. CEO Mohammad Sherafatmand 氏コメント

「世界人口の増加に伴い、衛生的な水の需要は増加しています。生きていくために必要な水を確保するために、Hydroleap はこの水浄化装置の普及に尽力いたします。スタートアップがこのような社会課題を解決するには大企業の協力が必要不可欠です。東南アジア地域を起点に、産業排水による水質汚染問題を解決、持続可能な社会の実現を目指します。」

三菱電機株式会社 常務執行役兼 CDO (DX 担当、ビジネスイノベーション本部長) 榊原洋 コメント

「近年、工業化が進んだ東南アジア地域では、工場排水による水質汚染問題が深刻になっています。多数の製造拠点を置く当社も重要な課題と認識しています。Hydroleap への出資を通じて、東南アジア地域の水質問題の解決に取り組み、そこで得られた知見を活かして、グローバル規模の環境問題の解決に貢献していきます。社会課題の解決を目指すスタートアップに対する支援を惜しまず、またオープンイノベーションを通じて、持続可能な社会の実現を目指します。」

Hydroleapの概要

会社名	Hydroleap Pte. Ltd.
代表者	Mohammad Sherafatmand
所在地	84 Toh Guan Rd E, #03-08/09 Singapore Water Exchange, Singapore 608501
設立	2016年12月
事業内容	水浄化技術の研究開発、及び水浄化装置の製造と販売
URL	https://hydroleap.com/

お問い合わせ先

<報道関係からのお問い合わせ先>

三菱電機株式会社 広報部
〒100-8310 東京都千代田区丸の内二丁目7番3号
TEL 03-3218-2332 FAX 03-3218-2431

<お客様からのお問い合わせ先>

三菱電機株式会社 ビジネスイノベーション本部
〒100-8310 東京都千代田区丸の内二丁目7番3号
E-mail : big.contact@pz.MitsubishiElectric.co.jp

※ 「ME イノベーションファンド」を設立 (2022年1月13日公表)
<https://www.MitsubishiElectric.co.jp/news/2022/0113.pdf>